示談契約書

　●●（以下「甲」という）と○○（以下「乙」という。）は、甲が負傷するに至った労災事故（以下「本件事故」という。）につき、下記のとおり示談の契約を締結する。

第１条

本件事故の概要は以下のとおりである。

発生日時　　令和〇年〇月〇日　午後〇時〇分

発生場所　　〇〇県○○市○○町〇番〇号　株式会社●●　〇〇工場

事故の概要　（事故の原因及び結果）

第２条

本件事故における甲の被害の概要は以下のとおりである。

傷病名　（診断名）

入院期間

通院期間

後遺症　(有無及び症状)

第３条

乙は、本件事故の原因となった○○につき、乙の管理不行き届きがあったことを認め、

甲が受領する労働者災害補償保険法に基づくすべての保険給付とは別に、以下のと

おりの支払い義務のあることを認める。

記

示談金　金○○万円

内訳　　損害賠償金　○○円

慰謝料　　　○○円

・・・・・

２　乙は、本示談契約成立時に金●●万円を、残金○○円は令和○年○月から令和✕年✕月まで毎月末日限り、金〇万円を甲の指定する銀行口座に振込む形で、前項の示談金を支払う。振込手数料は乙が負担する。

第４条

　乙は、次の場合には、甲の催告を要せず当然に期限の利益を失い、即時前条の債務の残額を支払う。

１　乙が第３条の支払いまたは利息の支払を○回以上怠ったとき

２　乙が第三者より差押、仮差押を受け、または競売の申立又は破産宣告の申立を受けたとき

３　乙が公租公課の滞納処分を受けたとき。

第５条

　甲及び乙は、甲乙間において、本契約書に定める事項以外には、相互に何らの債権債務のないことを確認する。

第６条

　本契約に係る紛争に関する訴訟は、甲の所在地を管轄する地方裁判所を第一審の専属的合意管轄裁判所とする。

本合意が成立した証として、本書を２通又は本書の電磁的記録を作成し、甲乙記名押印若しくは署名又は電子署名のうえ、各自保管する。

令和〇年×月×日

甲　　氏名

　　　住所　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　印

乙　　氏名

　　　住所　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　印